

島っ子だより

長崎っ子の心を見つめる教育週間

■大島小学校では6月4日に「長崎っ子の心を見つめる教育週間」がスタートしました。

初日は校長講話として、『大丈夫』という詩を題材に「心を見つめるとは?」「相手の気持ちを考えると?」ということについて、授業形式で子どもたちに話させたり発表させたりしました。「みんなが相手の気持ちを考えることができれば、素敵な笑顔になれる大島小学校になりますね。」と話して締めくくりました。



6日は授業参観で各学年、道徳授業を公開しました。どの学年も、先生方が工夫を凝らした授業展開により、子どもたちを惹きつけながらしっかり考えさせていました。この授業で考えたことを、これからの生活に少しでも生かしてほしいと思います。



業展開により、子どもたちを惹きつけながらしっかり考えさせていました。この授業で考えたことを、これからの生活に少しでも生かしてほしいと思います。



■授業参観の後には、平戸市消防署大島出張所の皆様にご指導いただき、救命救急法の講習を行いました。保護者と子どもたちとに分かれて、それぞれ心肺蘇生法の手順を習って実際に練習をしました。もしも目の前で人が倒れたらどうするか?事故はいつどこで起こるかわかりません。このような経験をしておくことで、いざという時に役立ててほしいと願います。